

# 森林レクリエーション施設の管理実施状況

小坂営林署 濁河森林事務所 森林官 小坂 恭子

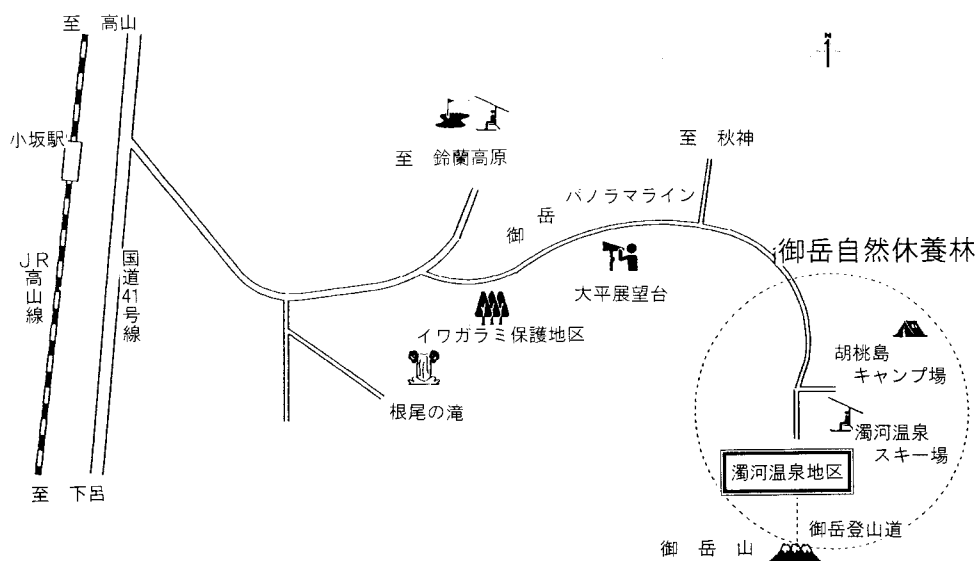
## 1 はじめに

御岳自然休養林の森林レクリエーション施設は、昭和45年の自然休養林指定以降、逐次、整備を行ってきましたが、施設設置後20年を経て老朽化が目立ってきました。また、近年の入込者の増加や、地域からの要請に応え施設の充実を図ることとし、平成6年度より積極的に整備を進めておりますので、この実施経過の中間報告をします。

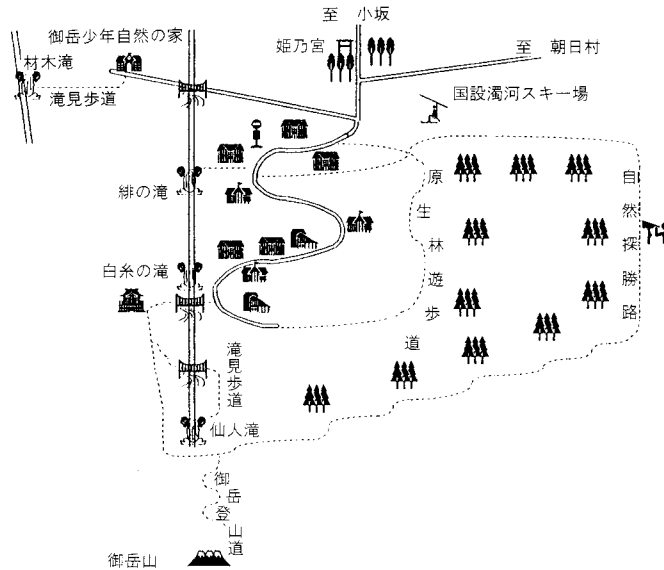
## 2 御岳自然休養林の概要

御岳（標高3,067m）の北西、小坂営林署落合国有林及び、久々野高山営林署胡桃島国有林外の面積2,284.32haの地域が御岳自然休養林に指定されています。久々野高山営林署管内には胡桃島キャンプ場があること、また、小坂営林署管内は、古くからの霊峰御岳の登山口で、標高1,800mの濁河温泉を中心に国設濁河スキー場、1kmの原生林遊歩道、4kmの自然探勝路、滝見歩道等の施設があり、年間を通じて広い年齢層の入込者があります。

御岳自然休養林 位置図



## 御岳自然休養林 概況図



### 3 補修整備の内容

#### (1) 歩道の整備

自然探勝路、緋の滝滝見歩道、仙人滝滝見歩道において、木段や沢に架かる橋等の不朽箇所  
の踏み板の交換、危険箇所の整備を実施しました。また、仙人滝滝見歩道においては、地元の  
濁河温泉管理組合の協力を得て、濁河川を渡る橋の架け替えを行いました。

#### (2) 看板等の作設、補修

自然探勝路、原生林遊歩道、御岳登山道の入口や分岐点の13カ所の標識看板を作り替え、3  
カ所の原生林遊歩道の案内板を補修し、仙人滝、白糸の滝、緋の滝の看板を新設しました。

#### (3) 東屋の補修

登山道入口に設置されていた東屋が傾斜し屋根材の不朽も進んでいたため、これを直立させ  
屋根の葺き替えを行いました。また、その周辺に散乱していた木製ベンチやテーブルの補修整  
備も行いました。

#### (4) 休養林施設の追加

御岳少年自然の家から1kmの距離に位置する材木滝は岩盤に垂下する硫黄華や、付近に温泉  
が自然湧出する滝で野外学習の場として相応しいことから、岐阜県の要請を受け、新たに休養  
林施設とし、歩道の作設や看板の設置を行いました。

#### (5) 姫乃宮神社の整備

県道脇のイチイの老木を祀った姫乃宮神社の老朽化した鳥居を新調し、看板を設置しました。

また、観光的価値を高めるため、この姫乃宮に纏わるいわれを作り、立て看板と賽銭筒を設置しました。

#### (6) イワガラミ看板の設置

落合国有林内を通り、小坂市街地と御岳自然休養林を結ぶ県道は、別名御岳パノラマラインと呼ばれ保健休養的価値の高いルートです。この脇のカラマツ林に自生し、夏は白い花、秋は紅葉の美しいつる性植物のイワガラミについて説明した看板を設置しました。

以上がこの2か年に実施した補修整備の内容です。今後、原生林遊歩道や自然探勝路の教養施設としての充実を図り、原生林内の樹木やその他の植物については、景観に馴染むような木製の樹名板等を作成し、設置する予定です。



仙人滝滝見歩道の架橋作業

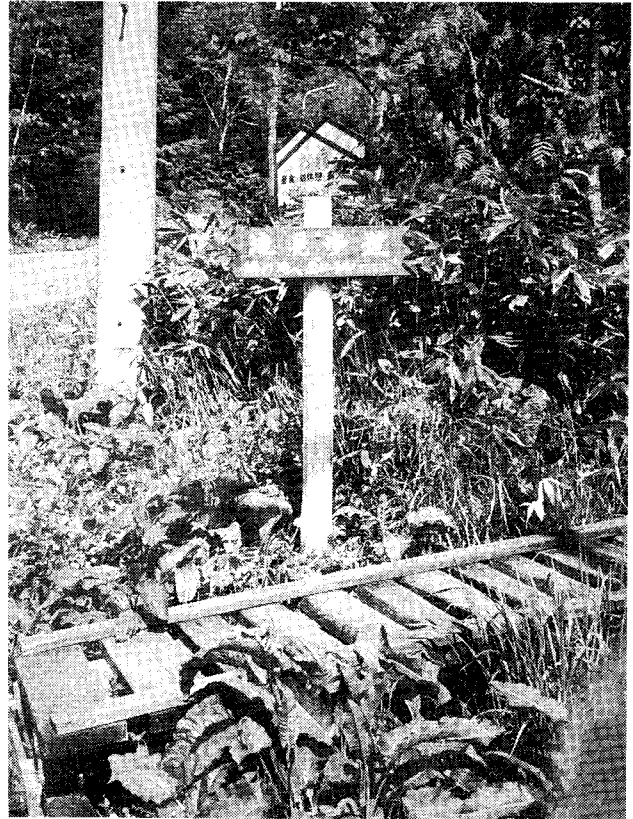
## 4 まとめ

- (1) 老朽化したレクリエーション施設の大半の補修整備を完了させ、レクリエーション施設を充実させることができました。この施設の充実は、入込者に対して国有林の良いPRになりました。
- (2) 厳しい予算状況のなかで職員が通常業務の傍ら、看板等の製作に当たり、経費の節減が図られました。

(3) 整備に当たり、地域の方々と意見交換や理解を戴き、協力を得て、交流を深めることができました。また、自然散策コースが増え、景観も良化されたことで、自然休養林の位置づけも高まりました。

## 5 おわりに

自然休養林は国有林や森林を多くの人々に理解してもらう場として大きな役割を担っています。今後、この地域はHGPにより入込者の増加が予想されることから、これらの森林をより有効に活用する上からも、更に整備を図っていきたいと思います。



歩道を補修し看板を設置し緋の滝見歩道